

PATA トラベルマート2008 (インド・ハイドラバード) 報告

第31回目を数えるPATAトラベルマート (PTM) が、9月16日 (火) ~19 (金) までインドのハイドラバード・コンベンションセンターにて開催されました。オフィシャル・スポンサーとして日本航空に提供された2コマのブースを活用させて頂き、今年も「ジャパン・ツーリズム・ブース」を運営してまいりました。詳細は、以下の通りです。

- バイヤー総数：374名 (参加国数：38カ国)
- セラー総数：715名 (参加国数：57カ国)
- インド国内からの業界関係参加者：約300名
- 参加メディア：48名
- 日本からのセラー参加者 (自社ブースを設営)
 - ホテルグランドパレス
 - ホテルニューオータニ
- 日本からのバイヤー参加者
 - JHC 株式会社
 - (株) アップルワールド
 - サンシャインワールド
 - (株) AGT
 - (株) ブルーム&グロウ
 - アセアン・リゾート・ネット
 - (株) ワールド・ビュー
- ジャパン・ツーリズム・ブースにおけるアテンド要員
 - (株) 日本航空インターナショナル 旅客営業本部部長 田所 俊彦
 - (株) インクルード代表 リック・ボーゲル (ボランティア)
 - PATA 日本支部事務局長 古関 孝子
- 日本ブースにおける「パンフレット配布代行サービス」参加会員
 - 帝国ホテル
 - ホテルオークラ
 - オークラホテル&リゾート
 - リーガロイヤルホテル
 - ホテルニューオータニ大阪
 - 水明館
 - 日本ホテル協会
 - 国際観光旅館連盟
 - オリエンタルランド
 - JTB
 - トップツアー
 - 東日観光
- 特別協力
 - 日本航空インターナショナル (ブースの提供)
 - 全日本空輸株式会社 (ディスプレイ用ポスターの提供等)
 - 日本政府観光局 (JNTO) (ポスター、配布物、DVD などの資料提供)



ジャパン・ブースにて。本部理事会
に出席の ANA 西頼氏も応援に。



➤ 所感

「ジャパン・ツーリズム・ブース」として今回で4回目の参加となったトラベルマートでしたが、いままでの中では一番手応えのあるトラベルマートとなりました。インドはもとより、ヨーロッパ、中東、北米など、様々な国からのバイヤーが日本に関する情報を真剣に求めているというのが事実です。

特に多かった要望としては、日本のホテルとの直接交渉をしたい、日本のインバウンドを扱うオペレーターを紹介して欲しいというものでした。これから、日本へのアウトバウンドを始めるに際し、皆さん真剣にビジネス・パートナーを探しているようです。以前は、日本の観光一般に関する質問や要望が多かったのですが、これは大きな転換期といえるでしょう。

そうした中、ジャパン・ツーリズム・ブースでは、皆様からお預かりしたブローシュアや日本支部会員名簿をもとに、説明やコンタクト先の紹介をしてみました。また、今回は「ジャパン・ゾーン」として日本からの出展ブースが1つのエリアにブロックされていたため、インパクトも大きかったようです。なお、次回、PATAトラベルマートは、2009年9月22日（火）から25日（金）まで、中国の杭州において開催予定です。

*インドでのトラベルマートの模様は、PATA 日本支部のウェブサイトでご覧になれます。
(<http://patajapan.com/blog>) 以下に一部コメントの抜粋を掲載します。

石樽信孝（PATA 日本支部会長）より: [2008年9月19日 2:05 am](#)

躍進するインドの象徴的な都市 HYDERABAD での PTM を本日見学しました。お金を沢山遣った諸 DESTINATION の数百の BOOTH の中で、日本関連は飾りも少なく極めて質素・SIMPLE ですが、寧ろ目立っていました。日本に興味を持つ BUYER の多さにも吃驚しましたが、古関事務局長並びに RICK 氏の親切な対応で顧客満足度は高い様子です。具体的顧客を有して手配を確定したいと積極的な欧米の BUYERS への対応は、PATA 日本支部会員を紹介する形に留まりますので、是非共、照会あった場合には速やかな回答等、ACTION をお願い致します。

（配布パンフレットは評判良く瞬く間に無くなっています。） ANA 西頼氏・JAL 田所氏の参戦で更に戦力が増強され、隣の NEW OTANI・GRAND PALACE 両 HOTEL との連携も進むものと思います。インド税関での荷物一時紛失・破損事故を素早く対応して頂く等、御苦労された古関事務局長・RICK 氏の引き続きの頑張りを願い上げますと共に深い感謝の気持ちを述べたいと思います。深謝!!

ANA 西頼 氏より: [2008年9月18日 8:09 pm](#)

ハイドラバードに昨夜到着しました。予想に反して、新しい機能的なターミナルで驚きました。イミグレーションもスムーズで、話によると国内線への乗り継ぎも大変便利なシステムになっているようです。インドの空港というイメージを一新するすばらしい空港でした。明日からは、PATA の理事会に突入!

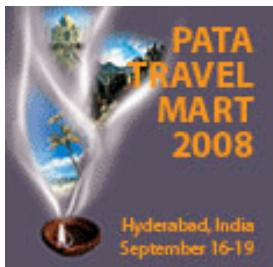
田所 俊彦 より (JAL 営業本部部長) : [2008年9月20日 7:55 pm](#)

PTMが無事終了いたしました。開催期間中にはインド関係者の熱心な売り込みに圧倒された時間帯もありましたが、日本に対する期待の大きさが肌身で実感出来たのは貴重な経験です。PTMに引き続き開催されているPATA理事会の戦略部門会議でもインドや中国市場の分析が行われ、いずれにしても10億以上の人口を抱えるこの2カ国が将来的に世界旅行市場の中で重要な役割を果たしていくことは間違いないでしょう。問題は日本の受け入れ体制や制度がどの程度の時間でこの爆発的な市場に対応出来るかです。タイミングを失すれば、両国からの来訪者は期待ほどには増えないでしょう。インドの潜在力を冷静に分析し、タイムリーな受け入れ体制を構築するため、関係者の協力と努力が必要となるでしょう。

大瀧 哲也 より: [2008年9月22日 11:16 am](#)

東京より参加させていただきました、ホテルグランドパレスの大瀧です。

私にとっては初めてのPTM出席となりましたが、事務局の皆様・現地スタッフの皆様のサポートにより充実した商談会を進めることが出来ました。サポート・ご協力いただきました関係者の皆様、本当にありがとうございました。



なお、今回のトラベルマートに参加したバイヤーが掲載されたリストをCD-ROMとして支部会員の皆様に配布させていただきますので、ご希望の場合は、info@patajapan.com までメールにてご連絡下さい。日本とのビジネス展開を考えているバイヤー情報が満載です！

インド・アウトバウンド・ワークショップ開催

PATA トラベルマート開催中には、Nielsen Research による、インド・アウトバウンド・ワークショップが開催されました。インド人旅行者にとって、アジアのディスティネーションは最も人気があり、1996年から2006年の間に年間10%増の勢いで伸びており、2006年には16%の伸びを示しております。常に新しいディスティネーションを求めているインド人旅行者にとって日本は大きな魅力ある場所であると同時に、その情報があまり伝わっていないというのも事実です。本ワークショップの資料（インド・マーケット及び中国マーケット分析資料：20ページ程度）を御希望の場合は、PATA 日本支部事務局まで御連絡下さい。（info@patajapan.com）

PATAゴールド・アワードの発表について

「PATA ゴールド・アワード」の授賞式が、トラベルマート会期中に開催されました。（スポンサー：マカオ観光局）—昨年は、「ビジット・ジャパン・プロモーション・ビデオ」がベスト・プロモショナル・

ビデオ部門を受賞しましたが、今回は、残念ながら日本からのエントリーはありませんでした。次回は是非エントリーを！主な受賞作品は、以下の通りです。

マーケティング・キャンペーン部門（政府観光局部門）

NZ 政府観光局「100% Pure New Zealand」

◇ マーケティング・キャンペーン（キャリア部門）

シンガポール航空「First to Fly the A380」

◇ マーケティング・キャンペーン（ホスピタリティ部門）

Taj Hotels Resorts and Palaces, India「No Room for the Ordinary」

◇ マーケティング・キャンペーン（インダストリー部門）

香港ディズニーランド「The Pirates Takeover Ambient Marketing Campaign」

◇ 環境・エコツーリズム・プロジェクト:Banyan Tree Hotels and Resorts, Singapore

◇ 環境・企業プログラム部門：Six Senses Resorts & Spa, Thailand

◇ 環境・教育プログラム部門：タイ政府観光庁「Klong Rua Village」

◇ 遺産部門：米国「Tauck World Discovery, USA」

◇ 文化部門：インド「Kerala Art Festival」

◇ プロモーション部門：インド「Kerala Tourism Theme Brochure」

◇ TV コマーシャル部門：マレーシア政府観光局「Visit Malaysia Year 2007」

◇ 印刷物部門：マカオ観光局「Experience Macau」

◇ ポスター部門：タイランド「Among Amazing Float/The Rhythm of Refreshment, Chiang Mai」

◇ CD-Rom 部門：マレーシア観光局「Travel Manual Interactive CD」

◇ PR 部門：NZ 政府観光局「100% Pure New Zealand Rugby Clubrooms, Paris, France」

◇ Website 部門：香港「Ngong Ping 360 Limited」

◇ E-Newsletter 部門：オーストラリア「Intrepid Express」



PATA 日本支部ブログの開設について

前号でもお伝えしましたが、支部会員の皆様のご要望やご意見などを反映させる事業展開を目指して、PATA 日本支部のブログがオープンしました。本ブログは、日本語、英語のバイリンガルを反映できるので、世界各国支部会員の皆様や本部会員の方々のリクエストやコメントなども、どんどん掲載していく予定です。世界の支部でも日本支部が最初にブログを開設したことに関し、世界に向けても情報発信していく予定です。是非、皆様からのコメントやメッセージをお待ちしております。

<http://patajapan.com/blog>

PATA 日本支部事務局では、ホットな情報をより迅速に皆様にお届けできるよう、また情報の共有が効率的にできるように、支部情報をメールにてお送りしております。なお、本号を含め、メールは現在登録中の PATA 日本支部担当者様宛てにお送りさせて頂いておりますが、必要に応じて、代表者の方、または関連部署の方へ転送頂ければ幸いです。ご協力の程、宜しくお願い申し



PATA 日本支部事務局ニュースレター

September 2008 Vol 27

上げます。 (事務局長 古関)